

平成15年度第2回森林生態系部会委員指摘事項と対応案

第2回大台ヶ原自然再生検討会 森林生態系部会 (H15.12.25)

項目	委員指摘事項の概要	事務局の対応案
再生ポテンシャル調査 (実生)	・倒木根株上の実生の年齢については、年ごとの結実の豊凶との関連が重要なので、調査すべき。	●実生を当年生とそれ以外に分け来年度以降モニタリング調査を実施する。
再生ポテンシャル調査 (倒木・根株)	・倒木や根株のサイズ分布が必要。	●参考資料2 p.42 に示した。
再生ポテンシャル調査 (とりまとめ)	・調査結果とりまとめを各委員に意見を求めるべき。	●平成16年2月10日に、ワーキンググループを開催し検討を行った。(参考資料1参照)
野生動物調査 (鳥類調査)	・生態については委員のアドバイスを求める。	●委員にヒアリングを行い、意見をいただき反映した。
野生動物調査 (調査時期)	・今年度の調査の多くが秋以降なので、春夏の追加調査が必要。	●来年度に春夏の追加調査を実施し、調査データの充実をはかる。
野生動物調査 (とりまとめ)	・今年度のデータだけでは不十分。 ・調査方法の妥当性も含めて各分野の専門家に相談すべき。	●各担当委員にヒアリングを行い、今年度のとりまとめ及び来年度調査について検討を行った。
利用による自然環境への影響 (植生)	・1984年のドライブウェイ沿いの調査結果との比較を行う必要がある。 ・法面緑化に利用されている植物を抽出すべき。 ・種子の散布形式や強光型の植物などを抽出して解析すると良い。	●資料4にとりまとめた。